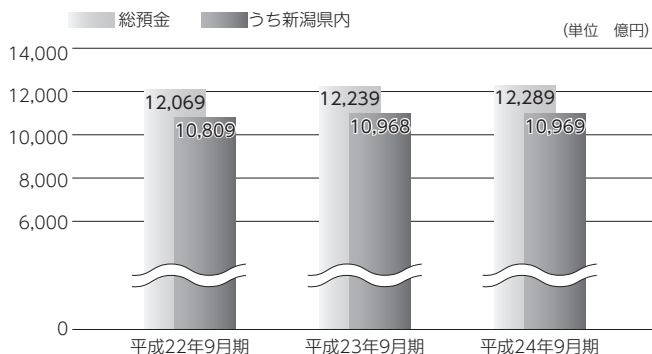


平成24年度中間決算ダイジェスト (単体)

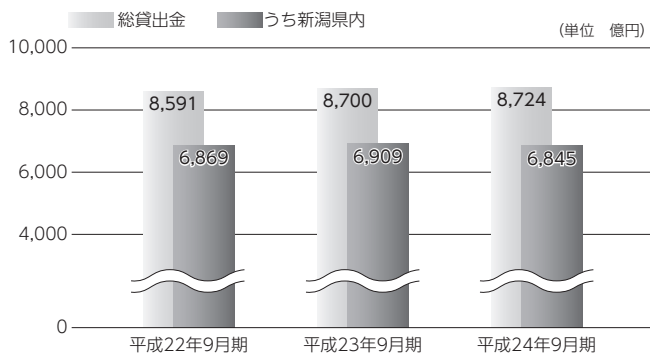
■ 預金残高



預金残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比50億円増加の1兆2,289億円となりました。

新潟県内預金残高は前年同期比1億円増加の1兆969億円であり、県内預金比率は89%です。

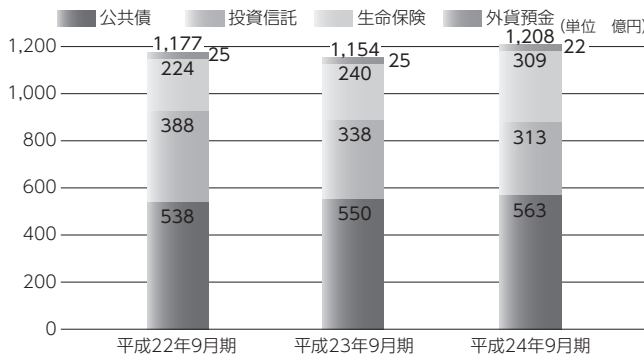
■ 貸出金残高



貸出金残高は、個人向け貸出や地公体向け貸出が増加したことなどから前年同期比24億円増加し、8,724億円となりました。

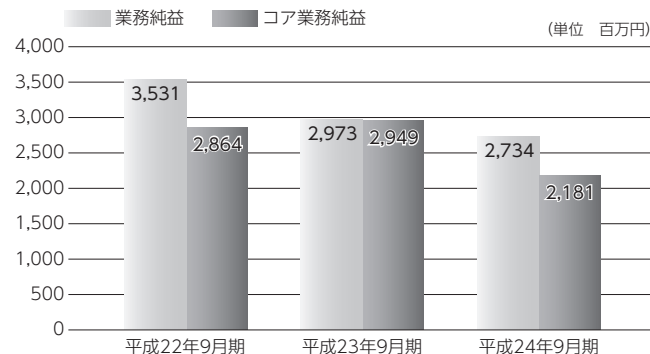
新潟県内貸出金残高は前年同期比64億円減少の6,845億円であり、県内貸出金比率は78%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、投資信託が市況の低迷による販売額の減少などから減少したものの、生命保険・公共債が順調に増加したことから前年同期比54億円増加し、1,208億円となりました。

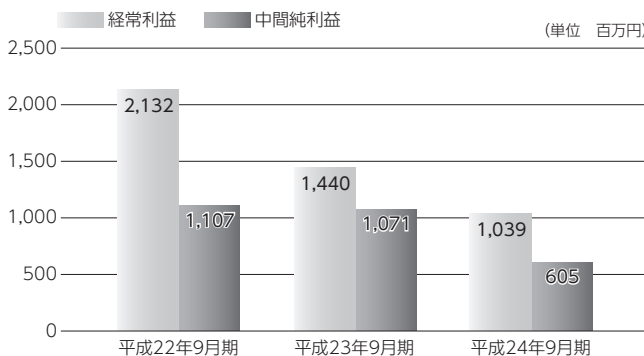
■ 業務純益・コア業務純益



業務純益は、役務取引等利益や国債等債券関係損益の増加、一般貸倒引当金の戻入益の計上等の増益要因はありましたが、資金利益の減少や次期システム移行準備に伴う経費の増加などにより、前年同期比2億39百万円の減益となりました。

コア業務純益は、前年同期比7億68百万円減少し、21億81百万円となりました。

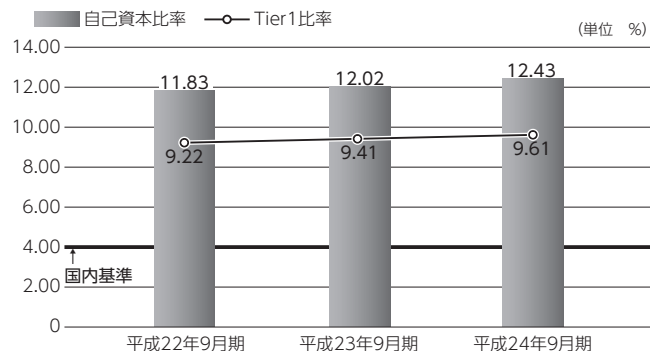
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、株式等関係損益が改善したものの、業務純益の減少や不良債権処理額の増加により、前年同期比4億1百万円の減益となりました。

中間純利益は、経常利益の減少のほか、法人税等調整額を含めた税金費用の増加により、前年同期比4億66百万円の減益となりました。

■ 自己資本比率・Tier1比率



自己資本比率は、前年同期比0.41ポイント上昇し12.43%となり、高い健全性を維持しております。

自己資本のうち基本的項目だけで計算した単体のTier1比率は9.61%であり、引き続き十分な水準を維持しております。